



7月の目標 1学期の反省をし、夏休みの計画を立てよう

「思いやいの心」を育てるとは？

思いやいの心とは、相手の立場に立って考えたり、気持ちを理解したり、その場に応じた行動のできる心情です。この心は、親の深い愛情や家族との温かい交流の中で育ち、近隣の人たちや多くの人々とのふれあいを通じて培われます。また、実際に自分が困ったときに助けもらった経験等によってさらに深い思いやりへと広がっていくのです。思いやいの心が欠ける原因として考えられることは、「自分だけが大切という社会的風潮」や「余裕の無さ」です。

子供は困っている人や傷ついた小動物に接すると、通常はごく自然に同情の気持ちを抱きます。それを素直に行動として表すこともそれほど難しいことはありません。たとえ、その表し方はうまくなくても、そのような場面に接したときには、それを励まし、賞賛することは大切なことです。また、自分の体験談やテレビ等で伝えられている外国の厳しい生活状況などについて家族で話し合うことも思いやいの心を育てる上で大切なことです。



写真は、2・3年対象の放課後「ステップアップ学習会」の様子

来週から夏休みです！本をたくさん読みましょう！

私の大好きな本は「ハチドリ」のひとしずく いま、私にできること」です。

この物語は、南アメリカの先住民に伝わるお話です。

たとえ小さなひとしずくでも、みんなの「私にできること」が集まれば、大きな力になる。一歩踏み出す勇気を呼び起こしたい人におすすめです！



*** 夏休みの貸し出しは7月19日(火)までです。一人5冊まで。9月9日(金)返却です。**

マスクの着用について(基本的にマスク着用ですが、次の場合はマスクの着用は必要としません)

①十分な身体的距離が確保できる時、②気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い日など熱中症等の健康被害が発生するおそれがあるとき(登下校中を含む)、③暑さで息苦しいと感じたとき、④体育の授業や部活動等で体を動かすとき。御理解と御協力の程よろしくお願いいたします。